

## 平成 23 年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2 月募集】入学試験問題

講 座	経済理論・統計、比較経済、政策科学、 経営学、会計学、組織経済学、 地域公共政策コース
専門科目	ミクロ経済学

以下の各問について解答せよ。なお解答は、問 1 は第 1 ページと第 2 ページに、問 2 は第 3 ページと第 4 ページに解答すること。

## 問 1

海峡で隔てられた二つの地域にそれぞれ第一町と第二町がある。それぞれの町では同じ財  $x$  が生産され、消費されている。各町における財  $x$  の需要曲線  $D_1$ 、 $D_2$ 、供給曲線  $S_1$ 、 $S_2$  は次の通りである。

$$D_1 : p = -x + 16 \quad \text{第一町}$$

$$D_2 : p = -x + 15 \quad \text{第二町}$$

$$S_1 : p = x + 1 \quad \text{第一町}$$

$$S_2 : p = 2x - 3 \quad (x \geq 1.5) \quad \text{第二町}$$

以下の設問に答えよ。

- (1) 海峡は横断困難で、両町間で交易は不可能であるとする。このとき財  $x$  は、それぞれの町で、どれだけがいくらの価格で取引されるか。
- (2) このときの第一町および第二町の消費者余剰を求めよ。
- (3) 海峡に橋が敷設されたため、交易が開始された。橋は無料で使用できるとすると、均衡ではどちらの町からどちらの町へ何単位がいくらの価値で移出されるか。ただし、財の移出にともなう輸送費は極めて低く無視してさしつかえないとする。
- (4) この交易によって、第一町における生産者（供給者）と消費者（需要者）について、それぞれがどれだけ有利（不利）になったか、生産者余剰と消費者余剰の概念を用いて答えよ。
- (5) 同様に第二町における生産者（供給者）と消費者（需要者）について、それぞれがどれだけ有利（不利）になったかを答えよ。
- (6) 交易によって各町において変化した総余剰をそれぞれ求めよ。
- (7) 交易によって余剰がプラスとなるような橋の料金範囲を求めよ。

## 問2

以下の語句の中から3つを選び、それぞれについて説明しなさい。必要であれば、簡単な図や式を用いても構わない。

- (1) パレート効率性
- (2) 限界生産物の逓減
- (3) 逆選択
- (4) モラル・ハザード
- (5) ピグー税

以上